

お祭軸線業務およびお祭軸光線業務

伯壬旭軍帥

(1) お祭軸

お祭軸の正式名は「地獄軸お祭円直線」です。地獄軸から出たお祭エネルギーということ。地獄軸そのものを銀色とすると銀色をベースに、お祭色——赤・橙・黄——が華やかな彩りをそえたエネルギーです。地獄軸プロバの基本的性格が世界を滅尽することにあるのに対して、お祭軸はその破壊的な性格はもろろんありますが、生かせるものなら生かして使おうというおらかな明かるさが顕著です。お祭軸の破壊力をDとお祭り力というべきものがFとして加わり、これは掛け算D×F＝Pというパワーになるため、地獄軸プロバに較べてF倍の力を発揮します。敵しさだけの武将よりも豊かさも併せ持つ武将の方がはるかにスケールが大きいのと同じと考えればいいでしょう。

(2) お祭軸光線

1〜9までの九つの光線は0（お祭軸）をベースにして、そこから出た光線と考えてください。それぞれの特性は以下の通りです。

0光線——「0無限」

0と無限大∞の関係は0を正世界に置けば0の反世界の数が無限大。そのまた逆もいえる。従ってお祭軸を入れることは、その人が普遍我（神我）を持つことを意味する。普遍が無限である。

逆にいうと、その人があくまで自我という有限にとどまるなら、その人の自我は破壊される。自我しかないならその人の存在は消滅することになる。お祭軸即ち0光線には0と無限大しかないからである。

だがその人に自我ではないハートがあれば神我を持つことが可能になるのだから大変な神の魔術であるという他ない。

1光線——剣聖

上泉伊勢守秀綱（信綱）や塚原ト伝のような剣聖。いかなる敵と対峙しても神の如き平常心を保ち、敵の出方に応じて千変万化の動きをとって敵を一撃のもとに斃す。

剣聖が軍を動かせば絶対不敗の無敵さを発揮するのみならず、人生のあらゆる分野の戦いに千変万化の対応をして完全勝利する。

2光線——ユーモア

鎌倉靈査のおり、丞相が鎖大師青蓮寺で「感性の土台があるとユーモアが、知性の土台があるとウィットが生まれるのだろうか」と感想を述べた。感性の土台に心の広さが加わった時「ユーモア」が生まれる。

3光線——改革維新

従来の3光線は「利益誘導」の光線だったが祭軸で一転、「改革維新」の光線に変わった。停滞を許さず、より良いものへ常に発展するように突き動かすエネルギーに変わったのである。この変化によつ

て金融界も政界も、他の凡ゆる分野も改革維新の3光線の力で原型を留めぬほどの大発展をしていくだろう。ユダヤや悪霊共の支配を完全に終らせることになる。無論個人の場合も然り。保身ばかりの怯懦な性格が改革維新の人となりによっていくのだ。

4光線——エスプリ

丞相のウィットに多分に似ている。エスプリはフランス語のesprit即ちspiritのこと。「神髄」を意味する。ウィットは会話上の神髄といえる。これまでの4光線はタレント風の「自己表現」に用いられることが殆どだったが、これからは会話であれ芸術活動であれ「エスプリ」が命になる。

5光線——本質を見抜く

従来の5光線は既成のデータを元に推論する力しかなかった。コンピュータのように既知のデータを元に推論する能力しかなかった。が、お祭軸5光線はいきなり「本質を見抜く」透徹した知性を持つようになる。神文学シムダガはいかなる巨大コンピュータにもそのデータが入っていないが故に、無視されて来た。お祭軸5光線に変れば神文学の卓抜な思想が次第に理解されてくるだろう。

6光線——成敗

成敗は破邪顕正の、特に破邪の色彩が強い概念である。どうにかなる者であればどうにかしてやるが、どうにもならない者は一切の躊躇いなしに成敗、処断する。

7光線——儀式即力即ち魔術

儀式が決定的な力を持つに至る。儀式とは地上の何らかの型を行うこと、そのことによって反世界の力を起動することができるようになる。これ「魔術」。型、形が決定的な力を持つことになる。

8光線——世界史を動かす力即ちハーケンクロイツ

従来の8光線はともすれば破壊にばかり力点があったが、お祭軸8光線は破壊と創造が一体になった「世界史を動かす力」である。これをシンボル化したものが✠ハーケンクロイツである。

9光線——天地公事

従来の9光線は「聖」であり「天」に偏して来たがお祭軸9光線は「天地公事」である。天地を二つになす仕事、それが「天地公事」である。したがって「お祭」は9光線と最も関係が深い。

サイエンス
Z X 17年1月14日

(旧2010年3月30日)